

## ●地域福祉に関する市民意識調査 自由記述回答（問 24）の要旨

### ○福祉のニーズや施策について

\*増税・値上げや年金の引き下げで負担が大きい。

- ・年金が毎年少なくなるので、生活が苦しい。
- ・年金が下がるのに税金や物価が上がり、高齢者が居づらい国になってきている。
- ・税金や公共料金が上がるのに年金が下がるので身体に鞭を打って仕事をしているが、楽しみがない。
- ・障害者施設の利用料が高くなったので、支払いのための持病があるが働いており、今後が不安である。
- ・保育料が高いと思う。
- ・日々の生活のなかで、常に不安感がある。

\*介護保険料の負担が大きい。

- ・介護保険料が高すぎ、年金生活者には負担が大きい。
- ・鈴鹿市の介護保険料は他市よりも高く、将来が不安である。
- ・介護保険料が県内で2番目に高く、住みにくい。
- ・年金生活者から、高い介護保険料を取らないでほしい。
- ・家族の収入によって介護保険料を変えるのはやめてほしい。
- ・少ない年金のなかから多くの介護保険料が引かれるのが納得いかない。
- ・介護保険料を年金から天引きするのは日本だけであり、問題である。
- ・介護保険はサービスを利用する人の負担を増やし、利用しなければ保険料を払い戻すなどの対応を考えてほしい。
- ・介護保険料が高くなりすぎないように、自動車保険のように使った人も内容に応じて負担すべきである。
- ・介護認定はコンピュータの判定が審査会で変更されるのであれば、税金を使ったコンピュータ判定は止めた方がよい。

\*介護や子育ての負担が大きい。

- ・障害がある子どもの世話で気が休まるときがないので、レスパイト事業の充実を望む。
- ・育児に負担を感じており、子育てのしやすい地域づくりをしてほしい。
- ・家族の支援も限界があるので、子育てサービスを積極的に使いたい。

\*支援や介護が必要な人が増えている。

- ・小さな集落で高齢化がすすみ、介護が必要な人も増えている。
- ・昼間に独居になり、不自由な生活をしている高齢者がいることを知ってほしい。
- ・支える家族に余裕が必要だが難しく、理想と現実のギャップを行政や地域の力で埋めることも難しい。

\*将来の生活に不安がある。

- ・現在は支障はないが、将来はわからない。
- ・今は困っていることはないが、将来への不安はある。
- ・年を取ることに不安を感じており、弱者にやさしいきめ細かい福祉政策を望む。
- ・子どもたちが独立して健康状態が悪くなったときのことが不安なので、福祉を充実してほしい。
- ・消費税が8%になり、年金で生活していくことに不安があり、楽しい老後が期待できない。
- ・今は健康だが、歳を取って自由が利かなくなるときのことを考えると、心配である。
- ・高齢者には厳しい現実が待っており、不安である。
- ・高齢になったときの生活が不安である。
- ・親の介護や自分の老後に不安がある。
- ・今後、老老介護になる可能性がある。
- ・今後、介護保険でどこまで支えてもらえるのか、不安である。
- ・医療機関を3か月で出される話などを聞いて心配しており、最後まで介護をしてほしい。

- ・足腰が弱ってから、施設を利用するまでの期間の生活が不安である。
- ・障害のある子どもの将来や、親が病気になったり死んだときのことが不安である。
- ・障害が理解されず、差別的な対応や発言が多いので、親が死んだ後のことが不安である。
- ・子どもが未婚なので、将来が不安である。

\* 買い物が不便なので対策が必要である。

- ・近くに商店がない。
- ・近くに商店がないので、車に乗れなくなると困る。
- ・車でスーパーまで行かないと、買い物ができない。
- ・コンビニやスーパーが遠いので、急に必要なときは不便である。
- ・高齢者には買い物が不便なので、スーパーや農協の店があるとよい。
- ・高齢者にとって、大型スーパーだけでなく、日用品が買える店がほしい。
- ・ひとり暮らしになったときに、通院や買い物が心配である。
- ・日常の買い物が近くでできるように考えてほしい。
- ・歳を取って買い物などが大変になったので、なんらかの方法を考えてほしい。
- ・車を運転できなくなったときのために、移動マーケットがあればよい。
- ・移動販売車を市が運営すれば、買い物をする喜びを与えることができる。
- ・買い物時の荷物が重いので、生鮮食料品が買える商店が近くにあるとよい。
- ・買い物難民が出ないようにしてほしい。

\* 福祉施策を充実する。

- ・福祉に力を入れて、住みよいまちにしてほしい。
- ・行政の最優先事項は介護福祉であり、問題が大きくなる前に先手を打つ必要がある。

- ・地域の支えあいも必要だが、公的な支援が基本であり、家族が安心して働けるように介護施設や保育所などの環境整備を進めてほしい。
- ・もっと福祉や医療に税金を使ってほしい。
- ・国や地方の財政を福祉中心にしていくことを望む。
- ・国も市も福祉を削減しているので不安であり、これ以上の切り下げはやめてほしい。
- ・自己責任が言われて社会保障の財源が削られていくなかでは無理がある。
- ・生活保護費の切り下げには反対であり、生活弱者への支援を強化すべきである。

＊高齢者福祉を充実する。

- ・高齢のみの世帯が増えて近所の助けあいの必要性を感じるが、公的な支援も不可欠である。
- ・介護保険料を負担しているのに、いざというときに利用できないことのないようにしてほしい。
- ・高齢者福祉にもっと力を入れ、民間の取り組みや広域の連携なども含めて、制度の谷間にいる人も救えるように制度を充実してほしい。
- ・日常生活に困っている高齢者を見ると不安になるので、気軽に利用できる福祉制度を充実してほしい。
- ・老老介護による事件などが起こらないように、介護施設やサービスを利用しやすくしてほしい。
- ・手厚い福祉をお願いしたい。
- ・子育て支援だけでなく、年金生活の高齢者も手厚く保護してほしい。
- ・在宅介護をすすめるためには、住宅改修費の援助、三食の食事や買い物の支援、在宅訪問診療医師の確保をしてほしい。
- ・4月から介護認定が厳しくなると聞いており、市で補助費を設けるなど手を尽くしてほしい。

＊認知症の人を支援する。

- ・認知症の人が増えるので、ねたきりにならないようにヘルパーを増やしてほしい。
- ・認知症の人が迷子になったときに、登録している人に情報を発信して発見できるシステムがあるとよい。
- ・認知症の人の捜索や事故防止のために、番号を記した反射テープを付けてもらい、市民にも周知するなどの取組みを早急にしてほしい。

\* 障害者を支援するサービスを充実する。

- ・ 障害児の施設が少なく、利用しにくいので、高齢者だけでなく障害児施策にも力を入れてほしい。
- ・ 短期入所の送迎がなく、休日は受け入れてもらえないので困っている。
- ・ 障害があっても福祉の支援を受けられない人への気配りが必要である。
- ・ 障害があっても職がないが、手帳が5級なのであまり支援がない。
- ・ 特定疾患で離職した若者への支援が見えず、どのような手続きをすればよいかもわからない。

\* 障害者雇用を推進する。

- ・ 鈴鹿市は障害者雇用率が低いので、雇用や定着につながる効果的な支援をしてほしい。
- ・ 障害のある兄弟が就労できずに心配している。
- ・ 三重県は障害者雇用がワースト1なので、障害者を雇用する企業が増えてほしい。

\* 子育て支援を充実する。

- ・ 子育て支援に力を入れ、毎日行ける施設や地域の子育て支援を増やしてほしい。
- ・ 病児保育を充実し、利用時間を延長するとともに、西部地域にも設置してほしい。
- ・ 子育て支援の充実が大切だが、子どもの一時預かりをしてもらえなくて困った。
- ・ 学童保育は6年生まで預かってもらえるようにし、地区による費用の差もなくしてほしい。
- ・ 有料でもよいので、障害のある子どもを、夏休みなどに学校の施設を使って預かってほしい。
- ・ 生活が苦しく食事が十分とれない子どもには、給食費の免除や炊き出しなどのサポートを充実する必要がある。
- ・ 離婚などで家庭に問題がある子どものケアが必要である。
- ・ 夫の子育てへの協力が少ないのが残念で、子どもが父親をどう思うか気になる。
- ・ シングルマザーへの対応がやさしくないと思う。
- ・ 不妊治療の助成金の対象を広げ、固定給でない人も支えてほしい。

- ・子どもの予防接種はすべて無償にしてほしい。
- ・健診で発達障がいなどを発見して療育しているが、十分とは言えず、親が不安になっている。

＊福祉や介護の施設を整備する。

- ・日常生活で困っている人のために、さまざまな福祉施設を増やしてほしい。
- ・働いている人のために、子どもや高齢者を長時間預かるところがあるとよい。
- ・今後の高齢化に備えて、介護施設の増設が必要である。
- ・認知症の人が増え、介護者の負担が大きくなっているのを、待たずに入れるように施設を増やしてほしい。
- ・介護施設が少なく、高い保険料を払っているのに、必要なときに本当に利用できるか心配である。
- ・南部地域に介護施設をつくってほしい
- ・現在はなんとかやっているが、動けなくなったら施設で預かってほしい。
- ・子どもがおらず、在宅介護に不安があるので、介護施設を増やしてほしい。
- ・有料老人ホームをもっとつくってほしい。
- ・経済的に余裕がない高齢者が利用できる施設を充実してほしい。
- ・介護施設を増やし、料金を下げてほしい。
- ・高齢者の施設は、年金だけでは入れない。
- ・介護施設に入居する際の個人負担を、できるだけ少なくしてほしい。

＊地域福祉を充実する。

- ・安心して暮らすために、地域の福祉の整備は大変重要である。
- ・地域や自治会などの小さな単位での、小回りの利く福祉の取り組みが必要である。
- ・介護事業者に任せるのではなく、小学校区ごとに施設を設置し、地域住民が運営に関われるようにしてはどうか。
- ・今の人は辛抱がなく、生活が苦しいとすぐに行政に頼るが、困っている人がいれば地域で助けあうのが当然である。

- ・介護をするには、家族の理解や支援が不可欠であり、さらに声をかけてくれる人がいれば安心である。
- ・障害があり、いずれ地域の人に支えてもらわないといけなくなるので、地域の福祉を充実してほしい。

\*福祉サービス等の情報提供を充実する。

- ・家族が必要になって介護認定の受け方を初めて知ったが、いろいろな福祉の情報を知らない人が多いと思う。
- ・介護などが必要になってみないと、よくわからない。
- ・介護保険のしくみを理解している人は少ない。
- ・現在妊娠しているが、子育て情報が全くわからないので、これから知りたい。
- ・地域の福祉でどのような支援が受けられるのか全くわからないので、広報で教えてほしい。
- ・平等に支援してもらえるか、どんな制度があるのかがわからないので、積極的に公開してほしい。
- ・地域の福祉に関して、広報以外の情報も知りたい。
- ・子育て支援の事業をいつやっているかを、回覧板などで教えてほしい。
- ・支援が必要な人に情報が伝わるように、身近なところでイベントなどがあるとよい。
- ・支援が必要になったときに利用できる相談やサービスについて、地域で説明会をしてほしい。
- ・どのような福祉制度があるのかを、専門家からアドバイスが受けられるようにしてほしい。

\*サービス等を利用しやすくする。

- ・ひとり暮らしになって困ったときに、すぐに対応してもらえるようにしてほしい。
- ・転倒して介護が必要になったときにサービスが利用できるまで日数がかかったが、すぐに利用できなければ意味がない。
- ・おむつを支給してもらっているが、使いにくいので、ニーズに応じてチケットで購入できるようにしてほしい。
- ・子どもの医療費は、払い戻しではなく支払わなくてもよいようにすれば、利用者も市も負担が少ないのではないか。
- ・支援が必要な人の目線で事業展開を考えてほしい。
- ・看板は立派でも、弱い立場の人が置いていかれることが多いのではないか。

\*福祉のあり方を見直す・明確にする。

- ・女性の社会進出が求められるなかで、高齢者の介護を誰がするのか疑問を感じる。
- ・今後ひとり暮らしの高齢者が増えると、在宅介護は難しいのではないか。
- ・憲法が定める人間らしく生きられる政策を確立するよう、市としてどのような方向をめざしているかを具体的に示してほしい。
- ・介護施設の待機者が何百人もいる状況のなかで、国は福祉の充実のためにどう取り組んでいるのか、自治体を通じて説明してほしい。
- ・福祉は人を幸せにすることなのか、言葉の意味を詳しく説明してほしい。
- ・福祉は高齢者や障害者を支援するもので、地域活動や子育て支援のイメージはないので、名前を変えるか、定義をはっきり伝えてほしい。
- ・本当の意味での福祉が少しでも充実していくことを、心から願っている。
- ・親が施設に入所することになり、福祉の大切さや携わる人の大変さを実感し、福祉に関する考え方が変わった。
- ・福祉は身体と心のケアが必要だが、心は人それぞれなので難しいと思う。

\*自立を支援する。

- ・豊かさは自立して自分で育むものであり、生活しやすい鈴鹿市にしていきたい。
- ・介護保険制度を上手に使うことで在宅介護をすすめるべきであり、自立をバックアップする非営利の人材を育ててほしい。
- ・自分でできることは自分ですることが幸せなのだと思うが、これからは世代を越えて助けあっていけるとよい。
- ・行政を頼る前に、家族での話し合いが大切である。
- ・高齢者が自助・共助の意識をもち、覇気をもって健康管理を実践するよう、向きあい方を見直すべきである。

\*福祉を効率的にすすめる。

- ・福祉にお金をかけすぎであり、税金を大事に使ってほしい。
- ・少子高齢化や介護に関する公的な負担が大きいため、財政のバランスを考え、税制も改革してほしい。

- ・コスト面を考えて、支援が必要な人を集合的に居住させることも必要だと考える。

\*生活保護を適正に運営する。

- ・生活保護の審査に疑問があり、必要な人に手が届く福祉にしてほしい。
- ・福祉の予算は障害などで本当に働けない人に使うべきである。
- ・障害があっても頑張っている人もいるのに、生活保護を受けて生活をしている人を見ると、福祉とは何かと思う。
- ・生活保護を不正に受けている人がおり、実態を把握して排除すべきである。
- ・生活保護の不正受給がある。
- ・鈴鹿市の生活保護は甘い。
- ・働けるのに生活保護を受ける人もおり、意識変革や働く環境づくりも必要である。
- ・面談や見守りなどで本当に生活保護が必要なのかを見極める必要がある。
- ・年金が下がるなかで生活保護費の減額は当然であり、審査も厳格にしてほしい。
- ・福祉は大切だが、悪用する人がいて本当に必要な人に行き届かないのは困ったことである。

\*要介護認定を的確に行う。

- ・動ける人が要介護認定を受けており、本当に必要な人に支援が行き渡っているが疑問がある。
- ・本当に必要な人を介護しないと無駄遣いになる。

\*年金の未納をなくす。

- ・年金の未納率を毎月公表するとともに、若者にもPRを行い、安心して利用できるしくみにすべきである。

\*福祉が充実している。感謝している。

- ・福祉を利用して、元気に暮らしている。

- ・地域で福祉関係の仕事に従事している人には感謝しており、おかげで平穩に暮らしている。
- ・障害児へのケアは都心よりも手厚いと感じる。
- ・週1回訪問しているいろいろ気配りをしてもらって、感謝している。
- ・デイサービスが利用できて、感謝している。
- ・民生委員がしている子育て支援に、とても楽しく参加している。
- ・ニコママ Cafe を知って、育児に心のゆとりができた。

#### ○福祉や子育てに関する相談について

##### \*身近に相談できるところを増やす。

- ・困ったときにいつでも相談できる、自分にあったところがほしい。
- ・地域に福祉や介護の相談所を設けてほしい。
- ・市の相談は休日の開催を増やすなど、市民にやさしい福祉を広げてほしい。
- ・介護が必要になったときに、福祉センターに相談に行けるのが心強い。

##### \*相談窓口の情報を充実する。

- ・困ったときに、どこに相談すればよいかかわからない人が多い。
- ・支援が必要になったときの相談窓口を教えてほしい。
- ・困ったときに気軽に相談できる窓口がどこにあるか、具体的にPRしてほしい。
- ・どこに相談すればよいか、みんながわかる状況をつくってほしい。
- ・地域包括支援センター等の相談機関や福祉に関する事業所の役割を明確にし、年に一度は鳥瞰図を示してほしい。
- ・高齢になって支援が必要になったときに、しっかり自分で手続きができるかどうか不安である。
- ・年金手続きが大変だと聞くので、わかりやすくしてほしい。
- ・保険料などはしっかり取られるが、支援を受けるときは手続きが大変なのは、弱いものいじめだと思う。

- ・子どもの学校のことで悩んでおり、どこに相談すればよいか教えてほしい。
- ・相談の方法がわからない。

\*相談に適切に対応する。

- ・支えてくれる人がいないので市役所に相談したが、親身になってくれなかった。
- ・困りごとでいろいろな機関に相談したが断られて絶望感が残ったので、困っている人をしっかり支援してほしい。
- ・相談しても真剣に対応してくれない。
- ・相談してもたらい回しにされ、地域でも親身になって相談できる人はいない。
- ・親族や近所の人に相談するのは勇気のいることである。

○健康づくりや医療について

\*健康づくりを推進する。

- ・健康年齢を伸ばすための施設があるとよい。
- ・医療機関が苦手な人が気軽に行ける健康診断があるとよい。
- ・市が運営する温泉をつくってほしい

\*健康づくりに取り組んでいる。

- ・できるだけ支援を受けなくてもよいように、健康に留意している。
- ・事故の後遺症で歩きにくいですが、散歩やグランドゴルフに参加している。
- ・福祉の問題を明日は我が身と考え、健康に気をつけて明るく過ごしたい。

\*医療体制を充実する。

- ・救急医療体制が不十分である。

- ・時間外の緊急医療体制が不十分で、救急医療情報センターも信用できない。
- ・駅の近くに総合病院をつくってほしい。
- ・近くに総合病院がないので、大きな病気になったときのことが心配である。
- ・心臓病なので、今後のことが心配である。
- ・夜間に急病になったときに、どのような方法で支援を依頼できるかを教えてほしい。

#### ○教育・文化について

- ・小学校が遠く、子どもの安全が心配なので、なんとかしてほしい。
- ・公立幼稚園が少ないうえに1年保育のところが多く、私立との差が大きいと感じる。
- ・土曜日の授業は、習い事や家族の交流の妨げになる。

#### ○福祉に関する理解や学習について

##### \* 障害者への理解をすすめる。

- ・障害のある人のことを理解する人を増やし、安心して暮らしたい。

##### \* 人の立場で考える。

- ・人の痛みがわかる人間が増えれば、福祉が充実すると思う。
- ・相手の立場に立って考える思いやりが大切である。
- ・保育所が家の近くにできると騒音が起きるので反対するというニュースを聞いて、憤りを覚える。

##### \* 福祉教育を充実する。

- ・学校で福祉について考える授業をすれば、興味をもつ人が増えると思う。

\*福祉について学びたい。

- ・福祉は身近に感じていないのでよくわからないが、今後は注目していきたい。
- ・いつか介護が必要なときが来ると思うので福祉に関心をもっており、しっかり支えてほしいと思う。
- ・現在は困っていないので福祉に関心がないが、将来は対処していきたい。
- ・体調が不安定なため日常生活に不安があり、両親も介護が必要になるので、住宅改修等に関心をもっていきたい。

○地域福祉などの活動について

\*できる範囲で活動したい。

- ・現在は子どもが小さいので難しいが、子どもが成長したらできる範囲で福祉活動をしたい。
- ・高齢になっても元気だったら、なんらかのかたちで福祉活動をしたい。
- ・近い将来には、地域のために動かないといけないと考えている。
- ・日常のちょっとした気配りで、地域の見守りができると思う。
- ・人に助けってもらう年齢になったが、できることで手伝いたいと思う。
- ・ボランティアには関心があるが、身体が弱いので、無理をせずにやっている。
- ・困っている人がいれば手をさしのべたいが、今は体調が悪いので無理であり、できる範囲でしたい。
- ・現在は困っていないので少しの力にはなれるかもしれないが、日々に変化するので対応が難しい。

\*活動したいが難しい。

- ・地域が高齢化しているので何かしたいと思うが、時間の余裕がない。
- ・地域福祉に関心があるが、こころの病気で小さな子どもに接することができないので、参加できずに申し訳なく思う。

\*活動の担い手が広がっていない。

- ・自治会の委員をしているが、昔にくらべて人々に余裕がなく、協力が少なくなった気がする。

- ・地域での助けあいと言われても、高齢者しか見かけない。
- ・組や班の連携はないなかで、地域福祉は役員だけのものになっている。
- ・地区社協が不活発なので、民生委員だけでなく協力者を増やす必要がある。
- ・民生委員だけでなく、多くの人が登録して受け入れる体制を確立するとよい。
- ・民生委員や福祉委員を増やし、もっと知ってもらえるようにする。
- ・ひとり暮らしの高齢者が増え、自治会の役をする人が少なくなった。
- ・いきいきサロンの代表をしているが、大変で、変わってくれる人がいない。

\*多様な活動を推進する。

- ・若い人は余裕がないので、リタイアした人が積極的に参加できるシステムや雰囲気づくりを、市がしてほしい。
- ・若い人にも活動に参加してほしいと思うので、まずはあいさつ運動からすすめてはどうか。
- ・各地域に対して、わかりやすい活動のガイドラインを示した方がよい。
- ・鈴鹿市にも市民活動センターが必要である。
- ・鈴鹿市では点字絵本をつくる場所がないので、多くの人に知ってほしい。

\*当事者による活動を推進する。

- ・こころの病気になったときに、頼るところが病院しかないのは心細いので、当事者が分かちあい、情報を共有できる行事を希望する。
- ・障害児が人間らしく生きられるために、保護者はなんでもするので、話しあいの場を設けてほしい。
- ・子育て中の親が気軽に集まり、相談できる場や機会がたくさんあるとよい。
- ・癒やしの場づくりや災害時の対処など、老人会の運営を改善する必要がある。

\*事業者と連携する。

- ・倒れてしまったときの対策として新聞販売店の見守り隊に入会している。

- ・小地域ごとに連絡が取れる場所が必要なので、治療院で役に立てることがあれば連絡してほしい。

\*活動に関する情報を発信する。

- ・地域の福祉活動の内容がわからないので、もっと詳しく知りたい。
- ・ボランティア活動についての情報が少ないので、広報に定期的に記載するとよい。
- ・地域の支えあいをすすめるには、どのような活動が必要なのかの情報を、わかりやすく発信する必要がある。
- ・高齢化がすすむなかで何ができるかを考えたいので、具体的にどんなことがあるかを知りたい。
- ・助けあって生きていることを実感する年齢になり、時間に余裕ができたならボランティア活動をしたいので、活動や講座の情報を発信してほしい。
- ・仕事で家にいないので地域のことが全くわからず、民生委員がだれかもわからない。
- ・社協や民生委員は名前はよく聞くが、具体的に何をしているのかがわからない。
- ・地区社協の組織について知らない人が多い。
- ・地区社協の活動内容が、よくわからない。
- ・協議会の活動状況を見聞きできる機会が少ない。
- ・市外で福祉の仕事をしていても、市内の情報は得にくいので、専門職の経験がある人を組織してはどうか。

\*活動の場所を充実する。

- ・話ができる集会所があればよい。
- ・子どもや高齢者などが自由に使える公園や児童館がもっとあるとよい。
- ・リタイアした人などが集える場所があれば、介護が必要な状態になりにくいのではないか。
- ・近くに相談するところがなく、公民館も遠いので、施設をつくってほしい。
- ・体育館で体を動かして健康を保っているが、利用料が高くて行きにくいので、高齢者は安くしてほしい。
- ・市営住宅の住民が管理費を払っているのに、住民のサークル活動に集会所の使用料を課すのはおかしい。

- ・公共施設は、個人の利益を目的として利用しないように、規則をつくってほしい。
- ・税金も限られるので、公共施設の利用は、受益者負担の視点で50～100円程度の個人負担をした方がよい。

＊有償の活動を推進する。

- ・ボランティアには限界があるので、有償の活動はぜひ実施すべきである。
- ・シニア世代の人が有償でひとり暮らしの高齢者や障害者などを巡回するシステムがあってもよいのではないか。
- ・ボランティアを有償にすれば、増えると思う。
- ・ボランティア活動をした経験から、少額でも有償の方がよいと思う。
- ・有償の活動には元気なシニアも参加できるようにしてほしい。
- ・定年後の仕事や収入が心配であり、福祉の活動や仕事が収入源になればよい。
- ・民生委員などの地域のボランティアは無報酬で負担が大きいですが、有償にすると価値が下がるので、交通費などを支給すべきである。

＊有償の活動に疑問がある。

- ・有償の活動は良いと思うが、年金だけの人は利用しにくいので、補助があるとよい。
- ・福祉を有償化すれば、低所得者は利用できないので、その人の立場で考える人が必要である。
- ・有償の活動の料金が税金で賄われるのならば反対である。
- ・福祉活動はボランティアが基本であり、無償で行うのが原則だと思う。

＊地域の活動に疑問や問題がある。

- ・必要な支援に目が向いていない。
- ・高齢者との面識や介護の知識がない民生委員がいる。
- ・民生委員の人選に疑問がある。
- ・民生委員はきちんとした人をお願いすべきである。

- ・共同募金を自治会に割り当てるのはおかしい。
- ・募金に協力する人が少なくなり、自治会の負担が大きくなっている。
- ・地域でいきいきサロンをしているが、参加者が決まってきた。
- ・行政に頼る人が多いので、責任をもつことも教える必要がある。

\*地域の活動に感謝している。

- ・パトロールの活動をしている人があいさつをしてくれるので、心強い。
- ・子どもの通学路や夜の駅にボランティアの人が立ってくれていることに感謝している。
- ・現在は生活の維持で精一杯で、福祉活動に参加する余裕はないが、通学路に立ってくれるボランティアに感謝している。
- ・社協の推進委員をして、いろいろな企画をしていることに、頭が下がる思いがした。
- ・民生委員がよく訪問してくださり、喜んでいる。
- ・自治会長に相談すると動いてもらえるので、助かっている。

○福祉サービスの担い手について

\*福祉サービスの担い手を確保する。

- ・福祉・医療従事者の長時間、低賃金労働を改善してほしい。
- ・高齢者施設は人手不足なので、資格のない人などでも話相手が必要だと感じる。

\*福祉事業者の質を高める。

- ・無認可の施設を放置せず、違法なものには対処してほしい。

○個人情報について

\*個人情報を活用すべきである。

- ・個人情報保護があまりにも過ぎると思う。
- ・何でも個人情報を保護しては、災害時の支援などもすすまない。
- ・個人情報について騒ぎすぎで昔のよい風土が損なわれているが、自治会でも共有して助けあえる社会になってほしい。
- ・自治会の役員をしていて、個人情報を教えてくれない家庭には困っており、過敏になりすぎていると思う。
- ・高齢社会になり、一人では生きていけないので、個人情報をどうこう言っている場合ではない。
- ・ひとり暮らしの高齢者が困ったときの連絡ルートなどの必要最低限のことは、明確化が必要である。
- ・個人情報を公開したくないのは見えない相手に知られる不安なので、お互いが同じ条件で公開するしくみができれば同意者が増えると思う。
- ・個人情報の非公開が行き過ぎで、土地の名義の書き換えにも苦労したので、市民に余分な負担を課す制度は一考すべきである。

\*個人情報の活用は慎重にすべきである。

- ・個人情報が漏れることに不安がある。
- ・個人情報を把握するのは良いことだと思うが、受け入れ側の対応ができないのであれば、すべきではない。
- ・面識のないところからの勧誘の電話に苦慮しており、情報については慎重にしてほしい。

#### ○近所づきあいやコミュニティについて

\*近所づきあいができている・できているが課題がある。

- ・近所で助けあっており、高齢者にとっては大きな組織よりも、近所の支えあいの方が楽である。
- ・高齢者が多いが、居場所となる家などがあるので長生きできるのだと思う。
- ・現在住んでいる地域は活動への参加率も高く、気心が知れた人が多いが、少子高齢化がすすんだので心配である。
- ・身体が不自由な人は隣近所で支えているが、孤立死する人もいるのは悲しい。

\*近所づきあいは大切である・近所づきあいをしたい。

- ・これから地域の支えあいが必要になるので、普段からの交流が重要である。
- ・団地のなかで高齢者が増えているので、お互いに声をかけて孤立しないようになるとよい。
- ・町内で高齢者の孤独死があり、地域での見守りや支えあいの大切さがわかった。
- ・高齢者でなくても病気などのときには助けをもらう必要があるので、近所との日常の交流が大切である。
- ・配偶者に障害があり、病気や災害のとき不安なので、地域の人に支えてほしい。
- ・ひとり暮らしをしており、民生委員に定期的に回ってほしい。
- ・先の不安がだれでもあるので、普段から近所とふれあい、手助けしてもらおうきっかけをつくりたい。

\*近所づきあいができていない・できていない人がいる。

- ・以前は農家が助けあって生活していたが、職が多様化し、まとまりが難しくなった。
- ・新しく建った家に、どんな人が引っ越してきたかがわからない。
- ・転勤してきた人を含めた支えあいが難しい。
- ・昔から住んでいる人からよそ者のように言われるが、もっと若い世代との融合を考えるべきである。
- ・昔のように近所で支えあい、自分たちだけでも近所の高齢者に親切にしたい。
- ・警戒して他人を寄せ付けない人がいる。
- ・近所や地域に支援を求めない人がおり、心配である。
- ・ひとり暮らしの人が気になるが、どのような支援すればよいかかわからない。
- ・近所に身体が不自由な人がおり、気にはかけているが心配である。
- ・高齢で外に出ることもなく、どのように暮らしているかわからない人が多い。
- ・子どもがいないと人とのつながりができず、孤独を感じることもある。
- ・子どもが小学校を卒業すると近所とのつきあいがなくなり、子どもの安全に気を使っている。
- ・足が不自由なため外に出られなくなって、近所の情報が入らなくなった。
- ・困ったときに何でも話せる人はいない。

\*近所づきあいをどのようにすればよいか難しい。

- ・近所の人と顔見知りになれるとよいと思うが、現実には難しく、自分から積極的な関わりもしにくい
- ・地域のつきあいを深めたいと思うが、どれだけ信じられるかが不安で、消極的になってしまう。
- ・ひとり暮らしになったとき不安なので、地域の助けあいが大切になると思うが、どうすればよいか分からない。
- ・市民それぞれに心のゆとりや豊かさがあれば、他者への気配りや配慮が芽生えるかもしれない。

\*近所づきあいが負担である。

- ・田舎の習慣が残っているが、お金や時間に余裕がないので困っている。
- ・自治会の役員の負担が大きいため、簡単にしてほしい。
- ・高齢になり、自治会の当番が回ってくるのが心配である。

\*近所づきあいはしたくない。

- ・家族とのつながりで考えたい。
- ・相談しても助けにならないことがあるので、深入りしない方がよい。
- ・良い意味で近所のことに深入りしないで生活できている。

\*近所づきあいのための話しあいや行事があるとよい。

- ・今後、地域での支えあいが必要になるので、話しあう機会があれば参加したい。
- ・支えあいのために、地域で若い人と高齢者が話し合う場をもつことが必要である。
- ・住みよい地域をつくるには、地域の悪習についてみんなの前で意見を言い、改革することが大切である。
- ・地域のつながりは地区によって差が大きいため、イベントや顔を合わす機会がもっとあるとよい。
- ・近所は高齢者が多く、話をする機会は少ないが、今後はつきあいを大切にしたいので、若者と高齢者が交流できる場があれば参加した

い。

- ・改善したいと思っても、年長者に受け入れてもらえない。

\* 広い範囲での交流がしたい。

- ・地域での支えあいには心強いが、知られたいくないプライバシーもあるので、もう少し広い範囲で交流をもてる機会を増やしてはどうか。

#### ○安全について

\* 通学路の安全を確保する。

- ・子どもの下校時などの見回りが必要である。
- ・通学路を改善するよう、側溝の蓋やフェンス、街灯などを整備してほしい。
- ・通学路に歩道がなくて危険なので、早急に整備してほしい。
- ・子どもが道路に広がって歩いているので、注意してほしい。

\* 歩道や道路を整備する。

- ・歩道の排水溝の蓋が壊れているところが多く、危険である。
- ・道路が狭く、自転車や歩行者が危険なところがあるので、道路を広げて歩道を整備してほしい。
- ・危険な道路を拡幅してほしい。
- ・周辺の道路を整備してほしい。

\* 路上駐車がある。

- ・道路に駐車しているので、デイサービスの送迎車が通れない。
- ・路上駐車が増え、自転車や車の通行に支障を来すだけでなく、非常に危ないことがある。
- ・マンションには各戸1台分の駐車場しかなく、他で探すのが大変である。

\*街灯を整備する。

- ・夜道が暗いので、街灯を付けてほしい。
- ・街灯が少ないので早期に改善してほしい。

\*防犯対策を充実する。

- ・下着が盗まれるので相談に行くと、捕まえるのなら証拠を掴んでからにするように言われた。

#### ○防災について

\*災害時の避難に不安がある。

- ・歩行が困難なので、災害時に避難所まで行けない。
- ・引っ越してきて間がなく、避難場所がわからない。
- ・高齢で災害時の避難が難しいので、家の2階に避難するよう用意を調べている。
- ・災害時には、高齢者は運命に任すしかないので、まず若い人をひとりでも多く助けてほしい。

\*災害時の地域での支えあいをすすめる。

- ・障害があることを地域の人に話したことはないが、災害などの非常時に支えてもらえるように、確認できる組織があるとよい。
- ・小さな町内で高齢者が多く、災害の訓練も行われていないが、もしものときのために普段から近所で交流できる場をつくってほしい。
- ・災害時に自治会が孤立することを考えて、地区のマップが必要である。

\*避難場所を充実する。

- ・海岸が近く、津波が怖いので、避難できる防災センターを建ててほしい。
- ・津波が来たときに逃げる場所がないので、高いところを考えてほしい。
- ・食物アレルギーがあり、災害時には配慮してほしい。

\*減災対策を充実する。

- ・台風等で水が出た場合に、排水が非常に悪い。

○バリアフリーについて

\*歩道を整備する。

- ・歩道に凹凸が多いので整備してほしい。
- ・歩道が狭く段差があり、車いすの人には危ないので改善してほしい。
- ・歩道に段差があり、シニアカーで通りにくいので、舗装してほしい。
- ・道路が平らでないので、手押し車で外出するときに危ない。

\*公共施設をバリアフリー化する。

- ・ふれあいセンターにエレベーターがなく、事業を利用できない人がいる。
- ・社会福祉協議会に行くのに交通機関がなく、駐車場も狭く、建物もバリアフリーではない。

\*交通施設をバリアフリー化する。

- ・駅にエレベーターを付けてほしい。
- ・バス停に日よけを設置してほしい。
- ・骨折の後遺症のため、段差のあるバスには乗れない。

\*バリアフリーのまちづくりをすすめる。

- ・バリアフリーの、高齢者が住みやすいまちをつくってほしい。

○交通について

\*公共交通が不便である。

- ・JRの本数が少ない。
- ・駅までの移動に困っている。

\*車に乗れないと不便である。

- ・車に乗れないので、買い物や役所の手続きで困っている。
- ・車がないので通院が不便である。
- ・今後、車が運転できなくなったら、買い物や急病が不安である。
- ・今は車の運転ができるのでよいが、今後、通院や買い物が不安である。
- ・車しか移動手段がないので、他の家族が使っているときは不便で、今度、運転できなくなったときも不安である。
- ・車の運転ができなくなれば買い物や通院に支障を来すので、スーパーの送迎バスなどがあるとよい。

\*移動の負担が大きい。

- ・交通機関が少ないので困っている。
- ・バスが少ないのでタクシー代の負担が大きい。
- ・外出するためのタクシー代がかかりすぎ、買い物や通院に困っている。
- ・通院にタクシーを使うと負担が大きく、交通手段に不安がある。
- ・車を運転できないためタクシーで通院しているので、回数券を支給してほしい。
- ・バスの本数が少なく最終が早いため通勤で利用できないので、一人1台の車が必要になっている。
- ・車でしか移動ができないので親の送迎が必要で、家族の負担が大きい。
- ・車がないので買い物や子どもの送迎を他人に頼まないといけないのが辛い
- ・交通事故の後遺症で長年痛みがあるが、車がないので電動自転車に通院している。

\* 社会参加のために公共交通が必要である。

- ・ 駅までのバスがあれば楽しく過ごせると思う。
- ・ バスがあれば高齢者がもっと元気になり，社会に貢献することもできる。
- ・ 市の施設を利用したいが，バスの便が悪い。
- ・ 交通の問題で活動に参加できないので，送迎があるとよい。
- ・ 車に乗れずに市の事業などにも参加しにくいので，コミュニティバスを使いやすくしてほしい。
- ・ バス停が遠く，道も暗いので外出がためらわれる。

\* コミュニティバス等を充実する。

- ・ 車に乗らない人のために，無料や低額のコミュニティバスを走らせてほしい。
- ・ 通院時の交通が不便なので，シャトルバス等を運行してほしい。
- ・ 買い物に行く交通手段がないので，コミュニティバスを増発してほしい。
- ・ 商店が遠いので，小型のバスを走らせてほしい。
- ・ 高齢になって車に乗れなくなったときのことが不安であり，コミュニティバスを走らせてほしい。
- ・ コミュニティバスは今後ますます必要になると思うが，現在はあまりに本数が少ない。
- ・ 循環バスがない地区に，早く走らせてほしい。
- ・ 海岸通りにもコミュニティバスを走らせてほしい。
- ・ コミュニティバスは地域格差があり，海岸線の住民は困っている。
- ・ 車のない高齢者には非情な市であり，津市のような病院を巡るバスや商店をつなぐバスを考えてほしい。

\* 高齢者の免許返納に対処する。

- ・ 高齢ドライバーが増えているのが心配であり，免許証を返納すればバスの無料バスを出すなどしてほしい。
- ・ 運転免許証を返納すると通院や買い物に困るので，福祉タクシーの制度やコミュニティバスの充実を考えてほしい。

○住宅について

- ・ひとり暮らしの高齢者が増え，家の老朽化もすすんでいる。
- ・家屋が老朽化しており，少ない負担で修理したい。
- ・空き家が多い。

○公園などについて

- ・子どもの遊び場が少なく，駐車場でボール遊びをするので危ない。
- ・市内を四季の道の延長の周遊遊歩道で歩きたい。
- ・公園がゴミだらけで，人がいない。
- ・高齢者や子どもが安心して出歩ける自然環境が減っており，暑い夏期には市役所の展望コーナーが開放されているのがありがたい。

○まちづくりについて

- ・スモールタウン化は鈴鹿市でも課題になると思うので，行政として個人財産の買い取りを考えてほしい。
- ・自治会と小学校の区域が違う地域があり，民生委員の活動がしにくいのではないかと感じる。

○産業について

- ・仕事をしても続かず，仕事がないので困っている。
- ・農業を担ってくれる若者がいない。

○環境について

- \*悪臭の対策が必要である。
- ・溝などから嫌な臭いがするので，原因を探して清潔にしてほしい。

- ・下水道に接続しない人がおり，町内清掃もできておらず悪臭がするので，市で汲み取ってほしい。
- ・未だに野焼きをしている人がおり，悪臭や火事の心配があるし，子どもの教育にも良くない。
- ・地域の養鶏場・養豚場やゴミ焼きの臭いがひどくて困っている。

\*騒音の対策が必要である。

- ・夜中のバイクの騒音がひどいので，取り締まってほしい。
- ・暴走族の騒音で困っている。
- ・バイクの音がうるさい。

\*ごみの不法投棄がある。

- ・ゴミのポイ捨てが多く，まちが汚い。
- ・通学路に大量の不法投棄があって危険なので，なんとかしてほしい。
- ・ごみの不法投棄が多くて困っているので，条例などをつくってほしい。

\*ごみ出しに困っている。

- ・ごみ置き場が非常に遠いので困っている。
- ・ゴミの出し方が難しく，認知症の人は理解できないので，もっと簡単にしてほしい。
- ・ごみ回収のカレンダーが配布されなくなり，回収日が把握しづらくて困っている。
- ・ごみ置き場がカラスに荒らされるので，ネットを整備してほしい。

\*その他

- ・高齢になり，山畑の管理に困ることが心配である。
- ・空き家の雑草の処理が必要だが，持ち主と連絡がつかないので対処できない。

- ・猿害で困っている。

#### ○マナーについて

- ・ゴミ出しやペットの散歩のマナーが悪い人、道にゴミを捨てる人などがいる。
- ・犬の糞の始末をしない人が多く、注意したらケンカになりそうになった。
- ・生け垣がはみ出していたり、ペットの糞の放置などがある。
- ・公園の野良猫に餌をやったり、犬の糞の始末をしない人などがいるので、マナーを徹底してほしい。
- ・近所の子の家の猫の糞で困っているが、文句も言いにくいので、市でなんとかしてほしい。
- ・犬の糞の放置で困っている。
- ・野良猫に餌をやる人があり困っているため、市で引き取ってほしい。
- ・路上駐車、たばこのポイ捨て、騒音などのマナーの問題があり、回覧場で注意喚起されているが改善されずに困っている。
- ・通学路にある飲食店の前で酔客が大声で話しているため、子どもが怖がっている。
- ・夜中に大音量で音楽をかけたり卑猥な声を出す人があるため困っている。
- ・外国人のゴミの出し方がひどいので、なんとかしてほしい。
- ・外国人が増えたが、マナーが悪く、治安も悪くなってうんざりしている。

#### ○行政について

\* 広報を充実する。

- ・広報紙の質が低下し、市民への市政の発信ができていない。
- ・「広報すずか」が制度の説明などがわかりやすく、字も見やすいので、今後も続けてほしい。
- ・鈴鹿市の取り組みは広報等で情報収集しており、充実しているため助かっている。

\* 公平な対応を行う。

- ・聞かなければ教えてくれない。
- ・居住地区の設問に長太地区が入っていないし、市内時刻表に楠駅が含まれていないのは市役所の怠慢である。

\* 市職員の意識や対応を改善する。

- ・公務員は、民間のように経営者の目を気にして、危機感を持って仕事をすべきである。
- ・市役所の職員が多すぎるし、対応が素っ気ないので、もう少し親切で平等な扱いをしてほしい。
- ・公立と私立の保育園の温度差を感じるので、入園希望者にもっと熱意をもって接してほしい。
- ・市職員の不祥事や事件などがあるなかで、市の福祉行政を信じる人がいるはずがない。
- ・土日にも市役所の業務を行い、市民のために汗をかいてほしい。
- ・中途半端で誠意が感じられない対応が多いので、信じることができない。
- ・街灯が切れたり道路の穴を連絡しても、放置されている。
- ・下水道工事後の地盤沈下を見回り、悪いところは直してほしい。
- ・地籍調査や下水道整備に恐縮しているが、そのために仕事を休んで時間をつくらないといけないので困る。

\* 職員の処遇を見直す。

- ・職員に地域手当を出す余裕があるなら、市民の福祉向上に回してほしい。
- ・なぜ、業績によって支払われるボーナスが公務員にあるのかがわからない。

\* 広域での取り組みをすすめる。

- ・高齢者福祉には関心があるが、四日市市に住む両親の世話をしているため活動できないので、市域を区切らずに福祉をしてほしい。
- ・介護予防は広域的に取り組み、広報もしてほしい。

\* 市の取り組みを評価する。

- ・鈴鹿市の公務員の働きぶりには感心し、感謝している。

- \*市長に頑張ってほしい。

- ・市長・副市長が市民に顔が見えると実感できることが、福祉の推進になる。
- ・市長は10年先を考えてほしい。
- ・市長自ら市内を回るぐらいに変身してほしい。

- \*その他

- ・市役所の建物にお金を使いすぎであり、地域福祉に使うべきだった。
- ・議員の視察は市民のための還元されることがなく、税金の無駄なのでやめた方がよい。

- その他

- ・会社の上司のパワハラ（理不尽な降格など）で非常に困っている。
- ・人を思いやる気持ちになってほしい。
- ・貯金をしなかったことを後悔しており、これから年金と給料を貯めて、旅行に行きたい。
- ・高齢になってペットが飼えなくなったときのために、シェルターのような施設があると安心である。
- ・殺処分される犬や猫を引き取り、介護施設などでペットケアをしてほしい。

- 市民意識調査について

- \*調査結果を公表する。

- ・調査結果を開示してほしい。
- ・調査の結果を知らせてほしい。

\* 調査結果を活かす。

- ・調査をしても対応する体制がなければ無駄である。

\* 調査内容を見直す。

- ・活動への参加や健康状態について具体的に質問し、実態を把握して計画を策定し、取り組みをすすめることを切望する。
- ・問6の選択肢の意味がわからない。
- ・地域福祉や民生委員が何をするのかを説明すれば、調査の意味がわかりやすいと思う。
- ・地域福祉とは何かの具体例があれば、もう少し回答しやすかったと思う。
- ・困っていることを訊くより、「こんなふうに困っていたら、こういう助けがある」ことを知らせる小雑誌がほしい。

\* 調査の実施方法を見直す。

- ・このようなアンケートをもっと多くの人に実施し、声をかけあうようにしていくべきである。
- ・隣人の嫌がらせで困っている人がおり、そういう人に調査票が届けばよいと思った。
- ・80歳代の高齢者が回答するのは難しいので、対象者の抽出方法を考えてほしい。
- ・85歳になり、回答は無理なので、もっと若人に回してほしい。
- ・この調査は無記名でなくてもよいのではないか。
- ・このアンケートにどんな意味があり、どのように役立つかがわからない。
- ・福祉行政に活かされる意味のあるアンケートとは思えないので、経費をもっと大事に使ってほしい。
- ・第1期計画も市民にまったく浸透していないのに、アンケートを実施しても信憑性がない。
- ・書面上の調査だけでなく、もっと現場を見るべきである。
- ・調査票の字が小さく薄くて読みにくいので、大きくしてほしい。
- ・漢字の読み書きができないので、ローマ字で書いてほしい。
- ・返信用封筒は、のり付けしなくてもよいようにしてほしい。

\*その他

- ・アンケートを記入し，福祉について身近に考えないといけないと感じた。

○次期地域福祉計画について

- ・一人ひとりの思いが届く，開かれた福祉をすすめる計画の策定を期待している。
- ・第1期計画には子ども・子育て支援が明記されていないので，次期計画は総合計画との整合性を重視し，子どもの福祉も記載してほしい。
- ・第1期計画を読んだが市民には難しく，伝わらなければつくる意味はないので，日常的に使えるものにしてほしい。
- ・アンケートによる主観的な意見ではなく，他市と比較して鈴鹿市の福祉がどうなのかを示す必要がある。
- ・以前に野良猫の対策を市に相談しても解決しなかったのに，このような大掛かりな施策ができるのか。
- ・何をもって福祉が充実したのかを定量的に示す指標を設定し，推移をみる必要がある。
- ・調査結果をどのように反映したかや，計画の進捗状況を，わかりやすく情報公開してほしい。